

サンディング仕上げ 施工の手引き

適用品番

ジョリパットアルファ JP-100シリーズ

ジョリパットノンフリーズ JPW-100シリーズ

【初版】平成22年 4月

【改訂】平成23年11月

アイカ工業株式会社
化成品カンパニー

< 使用材料 >

材料	商品名	概要	荷姿	標準施工面積
シーラー	ジョリパットシーラー JS-500	1 液水系アクリルシーラー (水で 50 ~ 100% 希釈して使用)	18kg/缶	約 135 ~ 240 m ² (水希釈量で 変動)
	<u>ジョリパットシーラー JS-410</u>	<u>1 液溶剤系 アクリル系シーラー</u>	<u>15kg/缶</u>	<u>約 75 ~ 100 m²</u>
	<u>セーフシーラー JS-800</u>	<u>1 液水系珪砂シーラー</u>	<u>16kg/缶</u>	<u>約 80 ~ 106 m²</u>
主材	<u>ジョリパットアルファ JP-100 シリーズ (ジョリパットノブリーズ JPW-100 シリーズ) 標準色 JP(W)-100T (...数字) 特注色 JP(W)-100 (...英字、 ...数字)</u>	アクリル共重合樹脂 水性仕上げ塗材	20kg/ 缶	約 13 m ²
骨材	JF- 1	寒水石(白竜) 1 厘	20kg/袋入り	約 74 m ²
	JF- 3	寒水石(白竜) 3 厘	20kg/袋入り	約 40 m ²

セーフシーラー JS-800 は 2kg × 2 個セットもございます。使用する面積によってはこちらをご使用いただくことを推奨致します。(施工面積目安：約 20 ~ 25 m²/セット)

使用する下地に適合したシーラーをご使用下さい。詳しくは各シーラーの説明書または最寄のアイカ工業(株)各支店にお問い合わせ下さい。

ジョリパットノブリーズの使用目安温度は-6 ~ 10 度です。水系のシーラーを使用すると凍結の恐れがありますので、ジョリパットシーラー JS-410 をご使用下さい。

< 主な施工道具 >

- ・金ゴテ(角ゴテ)
- ・仕上げコテ (ステンレス製の腰の柔らかいもの)
- ・オービタルサンダー(サンドペーパー # 60)

< 下地調整 >

モルタル金ゴテ押さえ(平滑)など

<サンディング仕上げ施工方法>

1.シーラー塗布

配 合	JS - 500	18kg
	清 水	9~18ℓ
塗 布 量	0.15~0.2kg/m ²	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

1 JS-410の場合

配 合	JS - 410	15kg
塗 布 量	0.15~0.2kg/m ²	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

1 JS-800の場合

配 合	JS - 800	16kg
塗 布 量	0.15~0.2kg/m ²	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

下地、主材に応じた最適なシーラーを選定して下さい。

3時間以上48時間以内

2.主材 下塗り

配 合	<u>JP(W) - 100シリーズ</u>	20kg
	JF - 3	10kg
	清 水	1.5~2ℓ
塗 布 量	約1.5kg/m ²	
施工道具	金ゴテ	
	金ゴテにて薄く塗り、ランダム荒らし、 出た鏝波を消すように押さえてください。	

夏期 4時間以上

冬期 12時間以上

乾燥を確認後、次工程に移って下さい。

3.主材 配り塗り

配 合	<u>JP(W) - 100シリーズ</u>	20kg
	JF - 1	10kg
	清 水	1.5~2ℓ
塗 布 量	約0.8kg/m ²	
施工道具	金ゴテ	
	金ゴテにて薄く塗り、ランダムに荒らし、 出た鏝波を消すように平滑に押さえてく ださい。押さえる方向はランダムにすると、 後の仕上げがきれいに見えます。	

夏期 4時間以上
冬期 12時間以上
乾燥を確認後、次工程に移って下さい。

4. 研磨

- ・表面の凹凸やコテ筋を平滑にするよう、オビケツグー(サンドペーパー-#60)にて軽く研磨してください。
壁面が濡れている状態では研磨しないでください。
研磨後、表面の粉を取り除くため、水拭きしてください。

< 施工のポイント >

- ・施工の前に下地のモルタルなどの不陸を出来るだけ取り除いてください。この意匠は塗布量が少ないため、下地凹凸が大きいと仕上がりが悪くなる可能性があります。
- ・下塗りはできるだけ平滑に塗布してください。
下塗りの段階で大きい凹凸があると、仕上げに影響します。
また、平滑にするときはコテをランダムに動かした方が仕上がりがキレイに見えます。

仕上げゴテ

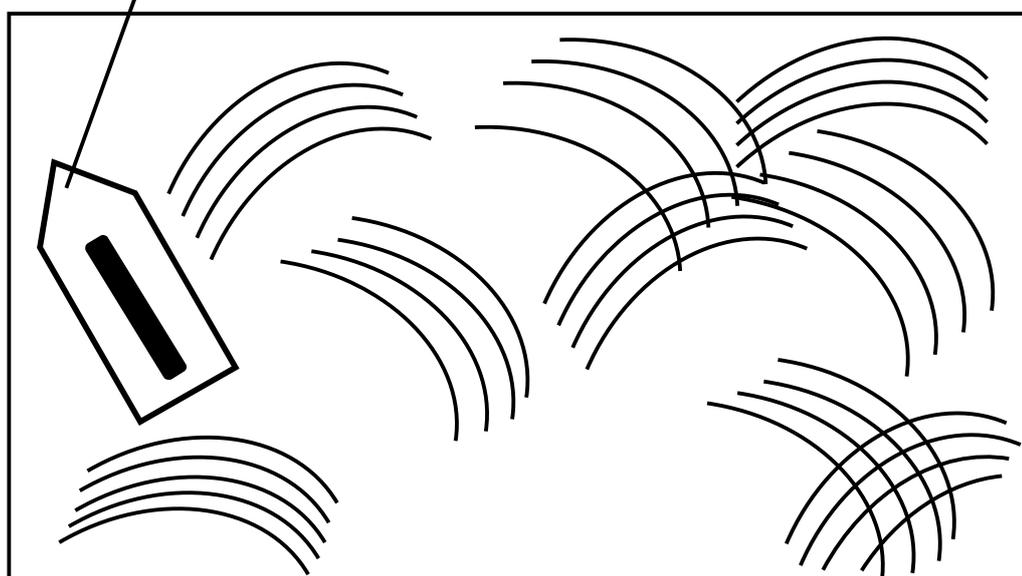


図 - 1

- ・オービタルサンダーは表面を軽く削る程度としてください。削りすぎると全体が平滑となり、サンダーが当たった部分とあたらない部分のムラが出なくなります。(図-2)
ディスクサンダー(#60のサンダー)でも削ることが出来ますが、削りすぎてしまうことがありますので、オービタルサンダーを推奨致します。

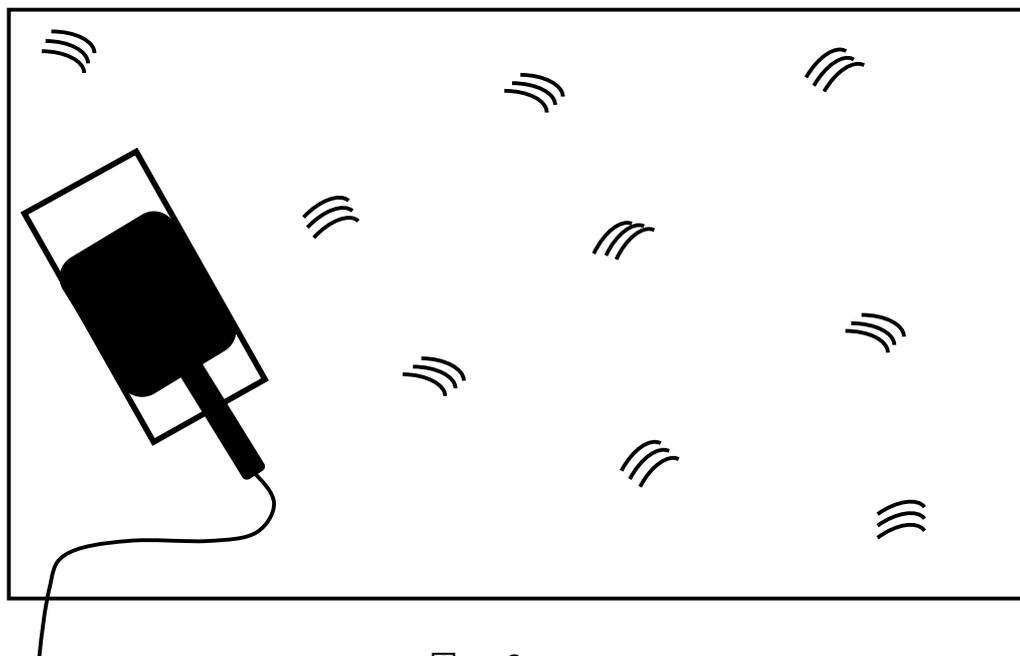


図 - 2

< 施工の注意事項 >

- ・施工前に必ずコンパネ等で試し塗りをを行い、仕上がり、乾燥性を確認してください。
- ・塗板見本及び現場施工時のパターンの状態を、施主等の責任者の承認をいただいた上で施工を進めてください。
- ・乾燥が比較的速いため、塗り継ぎ時間に注意して下さい。
(特に外装の大面积を施工する場合は、作業人工や化粧目地による分割を検討して下さい。)
- ・気温 5 以下、湿度 80%以上、降雨、結露、強風などの条件下での施工は、硬化不良、ひび割れ、ふくれなどの不具合が発生する可能性があります。
- ・冬季の 5 以下での施工の際は、ジョリパットノフリーズ JPW-100 を推奨します。その際シーラーは凍結防止のため JS - 410 をご使用下さい。
しかしながら、-6 以下、降雨、降雪などの条件下では JPW-100 使用時でも硬化不良などの不具合が発生する可能性があります。
- ・シーラー、ジョリパット施工の際は臭気トラブルを防ぐ為、事前に近隣への案内等にご配慮下さい。
- ・シーラー、溶剤、洗浄剤(灯油など)で有機溶剤が含まれる場合は特に、防毒マスクを着用し

てください。また、必要に応じて保護眼鏡や保護手袋を着用してください。

- ・施工器具(コテ、ローラー、吹き付けガン)などの洗浄水の、河川や側溝への廃棄は避けてください。
- ・商品ならびに施工に関するお問い合わせは最寄の当社支店までお願い致します。

完全にフラットに仕上げることはできません。

以 上